



『令和6年度全国学力・学習状況調査』の結果について



4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。6年生児童は、国語、算数の成果や課題を確認し、次の目標に向かって取り組んでいるところです。今回は、全国、県との比較を踏まえ、成果や課題について分析した結果をご報告します。また、合わせて行われた児童への質問についても、良かった点と課題となる点について分析しました。

【国語】

(1) 成果（正答率％）

- ・ 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる問題の正答率は高かった。(90.9%)
- ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題(「投げる」)の正答率は高かった。(90.9%)
- ・ 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題の正答率は高かった。(90.9%)

(2) 課題

- ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題(「きょうぎ」)を正しく書けていない児童が多かった。(36.4%)
(正答)「競技」 (誤答)「競議」「競走」
- ・ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題については、正答率が低かった。(36.4%)
(正答)「用意していた実物を示しながら話した。」を選択
(誤答)「相手の言葉を引用して話した。」を選択
資料の中の会話文の中から「これが、実際に出題されたクイズが書かれたカードです。」の一文を読み取れていないことから誤答が多かったと考えられる。
- ・ 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題については、正答率が低かった。(36.4%)
(誤答)資料にある会話文を正しく読み取ることができていないことから誤答が多かったと考えられる。
- ・ 「話すこと・聞くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する出題において正答率が低かった。

(3) 今後の取組

- 読書活動を充実させたり、課題にじっくり丁寧に取り組ませる時間を確保したりするなど、書かれていることの内容を正しく読み取ることを意識した学習を行う。
- 伝え合う内容を検討したり、自分の考えが伝わるように表現を工夫したりする学習を意図的に行う。
- 学習の振り返りや日記等で、既習の漢字を正しく使うことができるようにする。

【算数】

(1) 成果（正答率％）

- ・ 円グラフの読み取りや見取り図をかくことについては正答率が高かった。(90.9%)

- ・簡単な二次元の表を読み取り、データの落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる問題の正答率は高かった。(81.8%)

(2) 課題

- ・ **直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く。**(27.3%)
(誤答の理由) 球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉えることができていないことや、立方体の体積の求め方を理解していないことが挙げられる。
- ・ **$350 \times 2 = 700$ であることを基に、 350×16 の積の求め方と答えを書く。**(36.4%)
(誤答の理由) 求め方を算数的な言葉を用いて分かりやすく記述することができていない。

(3) 今後の取組

- それぞれの学年で習得すべき知識・技能を繰り返し練習させる。
- 授業において、相手意識をもち、算数的な言葉を用いて分かりやすく説明したり、伝えたりする習慣を付ける。

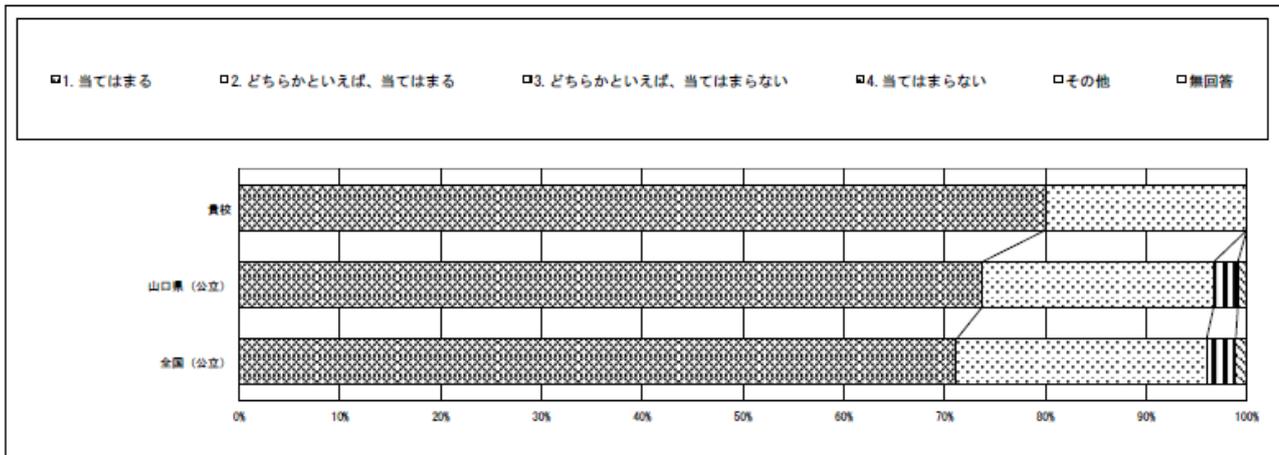
全教科での今後の取り組み

- 全ての学習において、文章を正確に読み取る習慣を付ける。
- やまぐち学習支援プログラムのプリントを活用し、基礎基本の定着を図る。(朝学、授業、宿題等)

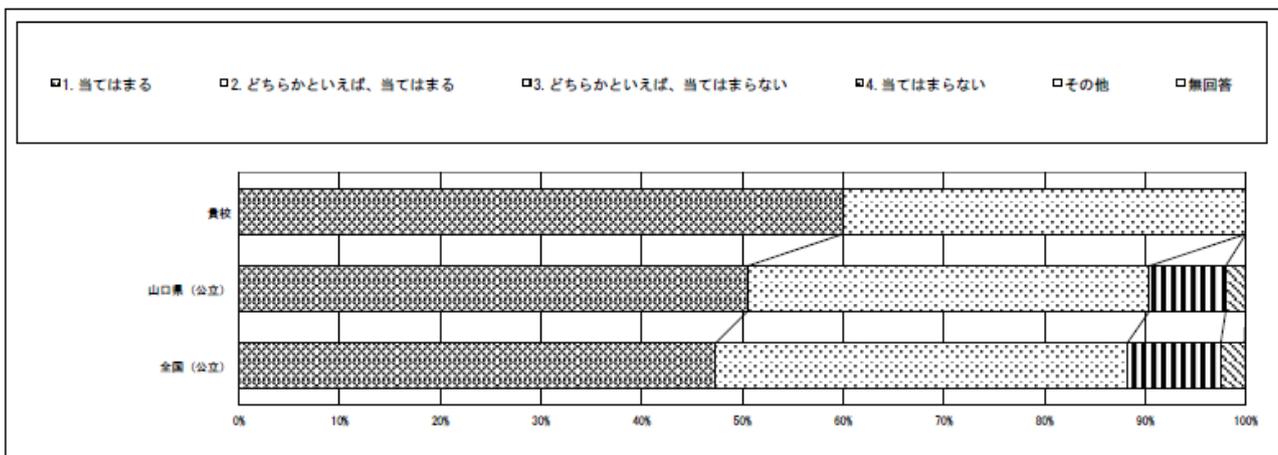
【児童質問紙】

(1) 成果

①人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

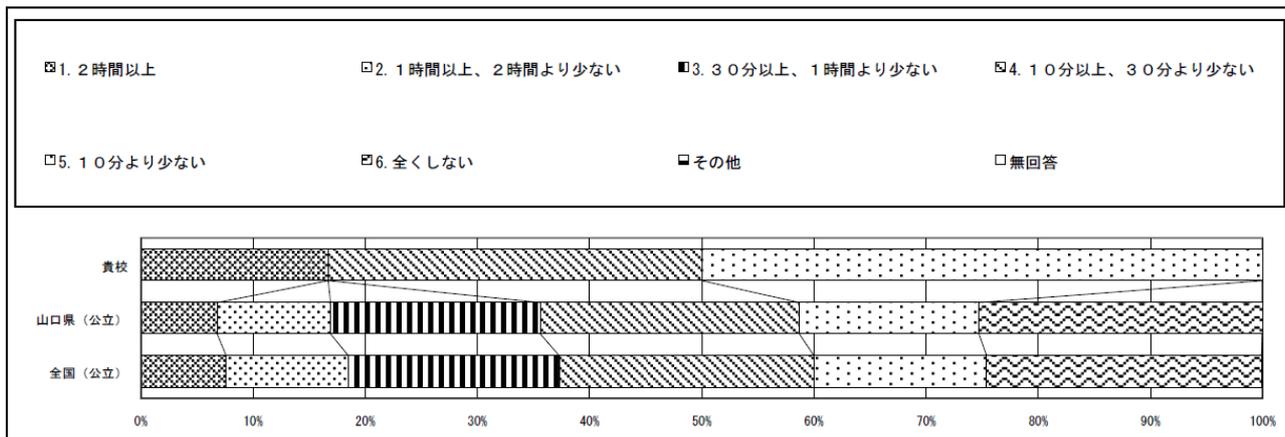


②道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

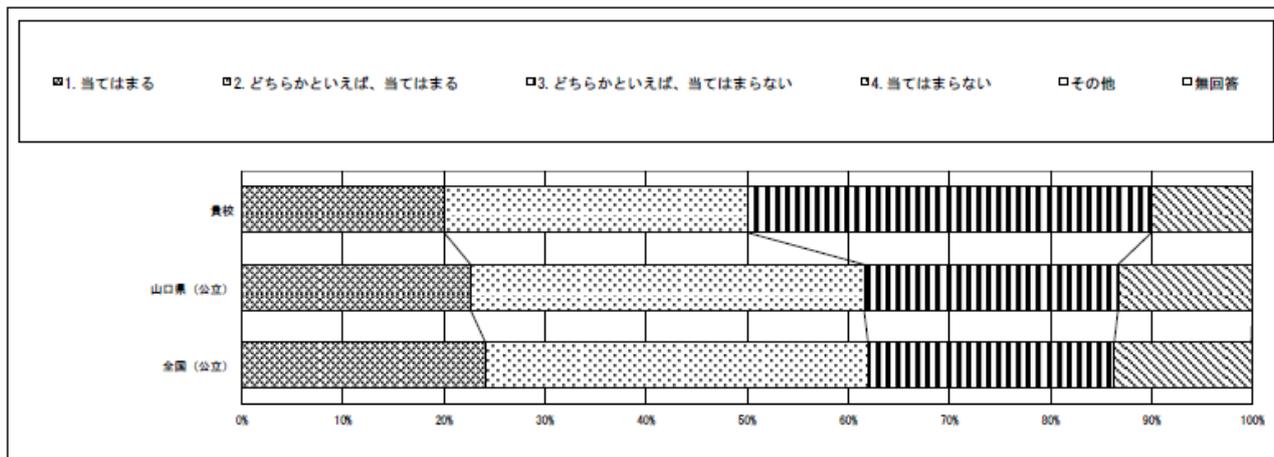


(2) 課題

① 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



② 国語の勉強は好きですか。



(3) 考察

○全体的に、社会性や基本的な生活習慣は身に付いている。規範意識も高く、周りの人と協力することや助け合って生活することの必要性も理解している。

○学習について必要性は理解している。特に算数、国語、英語の勉強は大切だと思うかという質問に対しては、6年生全員が「当てはまる」と回答している。

○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいるか」という問いには、6年生全員が「当てはまる」と回答している。引き続き、教員の研修の充実を図ってきたい。

○「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」「算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか」という質問に対して、6年生全員が「当てはまる」と回答している。他教科や生活と関連付けた学びができていると考えられる。

●土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているかという問いに、半数の児童が「1時間より少ない」、3割の児童が「全くしていない」と回答している。

●他教科は好きと回答している児童が多かった中、「国語の勉強は好きか」という問いに半数の児童が「あてはまらない」と回答している。学力調査の分析から「文章を正しく読み取ることができない」という課

題がみえてきたことや、「放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか」という問いに「家で勉強や読書をしている」と回答した児童は、県や全国の平均よりも少なかったことから、家庭や地域と連携を取り、文字や文章に向き合う時間を充実させる手立てを図っていきたい。